

## 免許外教科担任の許可状況について

北海道教育委員会

## 1 免許外教科担任許可の現状

## (1) 許可件数

## ア 中学校

教科	H19	H24	H25	H26	H27	H28
国語	74	47	28	23	13	11
社会	71	35	35	26	15	13
数学	86	56	26	27	17	11
理科	33	23	13	11	5	1
音楽	47	28	26	21	24	23
美術	350	304	306	249	231	202
保健体育	121	67	62	60	57	48
保健	9	4	7	5	1	1
技術	483	437	424	393	346	337
家庭	437	436	426	405	366	357
職業指導						
職業実習						
外国語	27	31	12	8	7	5
宗教	1					
計	1,739	1,468	1,365	1,228	1,082	1,009
前年比		▲ 271	▲ 103	▲ 137	▲ 146	▲ 73

## イ 高等学校

教科	H19	H24	H25	H26	H27	H28
国語	3	2	6	1	5	5
地理歴史	63	38	34	32	25	29
公民	52	42	33	27	24	32
数学	31	18	16	19	18	11
理科	15	11	6	2	10	12
音楽	2	4	4	2	3	4
美術	8	3	2	2	2	1
工書	11	7	9	7	7	6
保健体育	37	25	22	21	24	22
保健		6	2	4	2	1
看護	4	1	2	1	1	
家庭	19	20	14	17	20	21
情報	102	54	71	71	66	70
農業	17	14	8	9	11	11
工業	4	4	2	3	2	3
商工業	18	13	13	12	9	19
水産	2	1	1	1	1	2
福祉	24	17	15	19	16	14
商船						
外国語	4	4	2	3	5	11
宗教	3		1	1	1	
看護実習						
家庭実習						
情報実習						
農業実習						
工業実習						
商工業実習						
水産実習						
福祉実習						
商船実習						
職業指導						
計	419	284	263	254	252	274
前年比		▲ 135	▲ 21	▲ 9	▲ 2	22

## (2) 免許外教科担任許可の傾向

- ・ 中学校及び高等学校共に「免許所有者がいない」や「授業時数に対し免許所有者が不足している」などの理由により年度当初の申請が多い。
- ・ 該当する教科としては、中学校は「技術」「家庭」「美術」、高等学校は「情報」「地理歴史」「公民」の申請が多い。

## 2 免許外教科許可の基準等に関する取り組み

### (1) 申請内容の許可基準について

- ・ 教科の教授を担当すべき教員を採用できないこと。
- ・ 自己の所有免許状の教科を教授していること。

上記許可基準の他、時間数の平均化や調整する目的でないことを確認し許可している。

### (2) 許可の対象者

- ・ 主幹教諭又は教諭（経験年数の制限なし）

### (3) 許可の時期

- ・ 年度当初分は4月1日付けで許可している。
- ・ 年度中途に発生した場合は、その都度許可している。

### (4) 免許外教科担任許可者への支援

- ・ 当該教科の免許状を有する教員や指導主事等による指導・助言をしている。
- ・ 授業における外部人材活用（特別非常勤講師等）をしている。
- ・ 校務分掌や自己が所有する免許状の教科の持ち時間数を軽減することで、授業準備のための時間の確保への配慮をしている。

## 3 採用や人事異動等に関する取り組み

### (1) 教員採用時の取り組み（中・高）

- ・ 登録にあたっては、複数免許の所有状況を考慮し採用している。

### (2) 人事異動上の工夫及び外部人材の活用

#### ア 中学校における取り組み

標準法に基づく教員の配置定数が各教科1名の配置が可能となる6学級以上の学校において、各教科のバランスに配慮した人事異動に努めている。

標準法に基づく教諭の配置定数が9人以下となる5学級以下の学校では（本道においては約4割を占めている）複数免許所有者の適正な配置、小学校教諭の中学校兼務発令、免許外解消のための加配、非常勤講師の配置を行うなど、免許外教科担任の解消に努めている。

#### イ 高等学校における取り組み

各教科のバランスに配慮した人事異動や、複数免許所有教員の配置など、免許外教科担任の解消に努めている。

### (3) その他の取り組み（中）

免許法認定講習を開催し、現職教員の稀少免許取得を促進している。